

**赤鼻のおいしゃさん** 2003年4月／日本でケアリングクラウン活動開始

生きることを喜び、生命を大切に作る心をもつ。これは学習指導要領に定められた、1～2年生の道徳内容です。「笑い」はまわりを明るくするだけでなく、生きる喜びの発露でもあります。

**どんぐり銀行** 1992年10月／どんぐり銀行開店

どんぐりを拾って遊んでも、それが木に育つ種子だと理解していない子どももいます。「どんぐり」と「銀行」というユニークな結びつきから、植物の生長や環境問題に関心が持てます。

**サンタクロースはどこにいる？** 1955年12月／サンタ追跡作戦開始

低学年の読書では「想像を広げながら読む」ことがとくに大切といわれます。サンタが空軍にレーダー追跡されているという驚きは、子どもはもちろん大人にも想像力の翼を与えてくれます。

**110番動物園** 1986年11月／110番動物園スタート

地域のために働くのがおまわりさん。とはいえ、どんどん増える動物に有城さんのご家族は大変だったそうですが、自分たちの生活を変えてまで動物たちを守りました。

**わたしはレモネードやさん** 2004年6月／レモネードスタンド全米へ

英語でレモンはマイナスのイメージをもって使われることがあります。「人生がすっぱいレモンなら、甘いレモネードにすればいい」はアメリカのことわざ。この前向きな言葉はアレックスの心そのものでした。

**せかいでただひとつのメダル** 1936年8月／ベルリンオリンピック

子どもは遊びやスポーツを通して、フェアな精神を身につけます。名勝負はよきライバルや仲間がいてこそ実現するもの。メダルの輝きは時を経ても色あせることはありませんが、悲しいことに大江選手はこの5年後、陸軍の兵隊として向かったフィリピンで戦死。27歳という若さでした。

**南極のながしろうめん** 1968年12月／第九次越冬隊、南極点到達

「同じ釜の飯を食う」という言葉どおり、食事をともにした仲間の絆はかけがえのないものです。食事の喜びで仲間を元気にした南極料理人の存在は、ユーモアの大切さも伝えています。

**スズメの学校の先生** 1934年3月／日本野鳥の会創立

動植物を育て、その変化や成長の様子に関心をもつ。生き物への親しみをもち、大切にする。1～2年生の生活科学習目標のひとつです。

**にいちゃんのランドセル** 1995年1月／阪神・淡路大震災

大震災の悲惨さを忘れずに語り継ぐことは、命を落とした多くの方々に対する私たちの使命です。小学生にも身近なランドセルの存在を通して、災害の悲惨さや家族の絆を伝えます。

**シュバルのふしぎなおしろ** 1969年9月／フランス重要文化財登録

夢の実現に年齢は関係ありません。とことん好きなことに出会うことができるよう、子どもの興味や関心を、大人は否定せずに応援してあげたいものです。